

Y009

- T: はい, あ, こんにちは, 【T】です。
I: こんにちは, 【I (フルネーム)】です。
T: はい。
久しぶりですね。
はい (はい)。
お元気でしたか？
I: はい。
T: はい。
えーと, 今は, あの, どんな生活ですかね？
もう, 去年と同じですか？
I: あー, はい (うん)。
毎日 (うん), 学校に来てる (うん)。
T: 休みの日なんか, どんな生活ですか？
I: 休みの日は (うん), 週末には, うん, 友だちとで, 出かけます。
T: 友だちと (はい) 出かけるんですか (はい)。
えー, 出かけて, どのなところに行って, な, 何をするんでしょう？
I: デパートとか (うん), サッカーやるとか (ふーん)。
友だちがいたなら, 大丈夫。
T: ふーん。
そうですか。
友だちは近くにいますか？
I: うん。
すごく遠いんです。
T: ん。
遠い。
I: 遠い。
T: どこに住んでるんですか？
I: あの, 【地名1】に住んでいます。
【地名1】。
T: 【地名1】。
どうやって行くんでしょう？
ちょっと, 電車ですかね？
I: 電車, はい。
T: ちょっと, 教えてくださいか, どんなふうにして行くのか？
I: なんか…
T: 家から。
I: 家から？
T: うん。
I: いや, ちょっと, 家からって, す, 遠すぎるけど (うん), なんか, 【地名2】と【地名3】の間 (うん) みたんですけど。
T: うん, うん。
どうやって行くんですか？
電車で？
I: 学校に？
学校には, お母さんは (うん), 母に (うん), あの, おくれ, 送り, うう, 送ってもらいます。
T: お母さんに？
I: 送ってもらいます。
送ってもらいます。
T: 送ってもらって, それで, その, 友だちのところへ行くのはどうするんですか, 【地名3】？
I: あ, 電車で行きます。

Y009

- T: はーはーはー。
 ちょっと、その、えと、【地名4】から行くんですか? 〈うーん〉。
 どこから行くん…
- I: ***から〈はい〉【地名2】に乗り換えして〈はいはい〉、それで東にまた乗り換えして〈はい〉、【地名4】に行きます。
- T: はー、なるほどね。
 その、ちょっと、親しいお友だちってどんな人か、教えてください。
- I: はい?。
- T: その親しいお友だち。
 仲のいいお友だちはどんな人か。
- I: あ、みんなみんな友だちだけ…
- T: みんな友だち〈うん〉。
 特に、いちばん親しい人、だれ?。
- I: いちばん親しいお友だちはブラジルに行ったけど〈うん〉、今は親しい友だちはいないかも。
- T: あ、その、ブラジルに行っちゃった友だちはなんていう名前ですか?。
- I: あ、【人名1】です。
- T: 【人名1】さん〈はい〉。
 その人はどんな人か、ちょっと、こう、わたしがイメージできるように教えてください。
- I: ちょっとバスケ、日本には、なんか、バスケットの部活して、なんか、リーダーみたいだった〈ふーん〉。
 それで、なんか〈うん〉、毎日、話して、出かけて、いっし、全部一緒にやっていて、やっていた。
- T: ふーん。
 性格はどんな人ですか?。
- I: 性格って、いつも明るくて〈うん〉、おもしろかった。
- T: ふーん。
 その人との、なんか、すごい思い出って、いちばんの思い出ってなんですか?。
- I: あー、一番って〈うーん〉、一番ってないよ。
 いつも面白かった。
- T: ふーん。
 そうですね〈はい〉。
 で、あの一、【I】さん、あの、えっと、夢、もういちど教えてくださいませんか?。
- I: 夢。
- T: 夢。
 前にも、ちょっと、教えてもらったんだけど。
- I: うーん。
 大学して〈うん〉、なんか、エンジニア〈うーん〉とかやりたいんです。
- T: そこ、もうちょっと詳しく教えてください。
- I: 詳しくって、なんか、物理とか算数が、数学が好きだから〈ふーん〉、なんか、その、その〈ふーん〉、関係してることをやりたい。
- T: ふーん。
 関係してることいろいろあるけど、例えば。
- I: なんか、車とか〈うんうんうん〉、飛行機とか作るでしょ、なんか。
- T: はー。
 車とか飛行機、乗り物系が好きなんですね。
- I: あ、はい。
- T: へー。
 それはどうしてですか?。
- I: あー、子どもから好きだったから。
- T: ふーん。
 そうですね〈はい〉。
 へー。

Y009

なるほどね。

で、物理や数学の面白さってどんなところですか？。

I : なんか、物理は〈うん〉、なんか、全部は、な、ひ、いのき、ひに、なんか、えー〈うん〉、、、、日々に〈うんうんうん〉えー〈うん〉、関係してるからおもしろい。

すぐに覚えやすいとか、覚えやすい。

T : 日々に関係してる〈はい〉っていうと、もうちょっとそのへん教えてください。

I : なんか〈うんうん〉、うーん、なにかを回して〈うん〉、どこに行くか、離れたらどこに行くかと〈はー〉、それみたいなことで〈はーはーはー〉、なんか、じゅ、えー、じゅ、重力〈はいはい、うんうん〉、なんか、うん、おも、好きだから。

あんまり理由はないかも。

T : あー、なるほどね。

いいですね〈うん〉。

夢が、きっと夢がね、あの、かなって、ですよ。

趣味はなんですかね？。

I : 卓球とサッカーです。

T : うんうんうん。

サッカーね〈はい〉。

あの、サッカー、ほんとに、あの、ね、ブラジルのサッカーと日本のサッカー、よく違うって言われますよね〈はい〉。

どんなところが違うのか、ちょっと、はい。

I : うん。

ブラジルは、なんか、人が、***とか、いっぱい有名な人が〈うん〉出てるから、日本人はあんまり有名な人がない、ないですね〈うんうんうん〉。

だから、たぶんブラジルが一番いいと思います。

なんか、ロナウジーニョとかロビーニョとか、いつ〈うんうん〉、なんか、ヨーロッパにいっぱい〈うん〉人がいるんでしょ。

それで〈うん〉あそこに〈うん〉、えー、レベルが違う人が、やり、まじり、レベルが高い人と戦って〈うん〉、それで、それが、それが〈うん〉レベルが上がると思います。

T : ふーん。

あー、やっぱり、ブラジル、どうしてブラジル、あんなにサッカー強いんですかね？〈{笑}〉。

その、ねー、いろんな有名な人も出てますよねー。

I : {笑} あー〈うん〉、なんか、あそこで〈うん〉、なんか、貧乏と〈うん〉お金持ちとがすごく分かれて〈はーはーはー〉、その貧乏たちの人が、なんか、学校で通わない、通うことができないから〈はい〉、なんか、スポーツに夢をかける〈はー〉とか、あるんです。

T : なるほどね。

あと、なんか、小さいときからボールを持って遊ぶ人が、子どもが多いって聞いているんですけど。

I : そう、うん。

T : そういう、やっぱり、伝統っていうか…

I : はい〈はー〉。

子どものころから、なんか、ボールとか〈あー〉遊んでいて〈はー〉、なんか、学校に通う〈うん〉ことができないから。

ボールを…

T : あ、なるほどね。

そうですか〈うん〉。

じゃ、ブラジルもすごく豊かな人が、に、ま、豊かに全体になっていったら、そんなに、サッカー熱もあれですかね？。

I : はい。

T : あ、そうなんですか {笑}。

へー。

なるほどね。

Y009

で、えっと、【I】さんはサッカーと卓球が好き。

I : はい。

T : と、どっちが好きなんですか？。

同じ？。

I : うーん。

今は〈はい〉、今は同じ {笑}。

T : 同じ。

I : でも、前はサッカー、サッカーだった。

T : ほう。

てことは、卓球がもっと好きになってきたってことですよな 〈うん、はい〉。

卓球の魅力を教えてください。

I : 卓球は、なんか、ドライブとか 〈うんうんうん〉、エフェク、あの、変化 〈はい〉 がいっぱいあるのが面白かった 〈ふーん〉。

なんか、それに、たつき [卓球] に物理もあるでしょ、でしょ 〈はー〉、なんか。

変化するときには 〈うん〉、なんか、やわら、ん、えと、なんか、うー 〈うん〉、、、、。

T : うん。

ゆっくり、ゆっくり、考えながら 〈うん〉 教えてください。

ほう。

物理と似ている？。

I : 似ている、じゃないけど 〈うん〉、なんか、関係してる、なんか 〈あ、はい〉。

えー、技をした、技、技 〈うんうん〉、技をするときには 〈はい〉、なんか、物理を考えてそれやるとか。

T : すごい、頭脳プレーですね。

すばらしい {笑}。

あ、そうすると勝てる。

I : うん。

T : ほう。

サッカーは違うんですか？。

I : はい？。

T : サッカーはそうじゃない？。

I : さ、考えますけど、なんか 〈うん〉 …

あ、電話。

T : 置いて。

はい。

I : お母さん。

それで 〈うん〉、うーん…

T : サッカーは 〈うん、はい〉 あの、か、おんなじだけど、どこが違いますか？。

I : 卓球は1人でやって 〈うん〉、なんか、ふた、ふた、2人でやって 〈うん〉、僕は 〈うん〉 プレッシャー、友だちのプレッシャーないけど、ないだから、一人やる、やる、やる、やるのが好きです。

T : あー。

サッカーは、あの…

I : サッカーはチームだから…

T : チームだから…

I : 友だちのプレッシャーもあるから 〈はー〉。

なんか、間違ったら、友だちが、なにか、怒るから、たぶんそれで。

T : でも、友だちが間違ふこともあるから、気にしなければいいんじゃないですか {笑}。

I : そうですけど、前にサッカー部に、いた[いった]ときは 〈はい〉、先輩は {笑} いつも怒ってて。

T : ほう、なるほどね。

でも、サッカーやると、友だちも、まー、そういう、怖い先輩もいるかもしれないけど、友だちが増えるのがいいんじゃないですか？。

I : そう。

Y009

でも〈ふーん〉、1人は、なんか、プレッシャーないから。

T： あ、プレッシャーがあるのがあんまり好きじゃない。

I： はい。

T： そうですか。

はい。

もっと自由で自分を出したい〈はい〉。

それに、でも、物理と関係性を考えてやって、すごいですよね〈{笑}〉。

へー、なるほどねー。

そうですか。

えっと、卓球と、さっき、なんか、バスケットって言いましたね。

友だち、バスケットの、ねー。

I： あー、バスケット、はい。

T： バスケットも、や、よくやるんですか？。

I： あー、違う。

T： あんまりしない、【I】さんは。

I： なんか、友だちは〈うん〉、なんか、日本の学校に行って〈うん〉、バスケットの部活してたから〈ふーん〉、上手だった。

T： ふーん。

【I】さんは、あんまりバスケはしないですか？。

I： しない。

T： 全然。

I： 全然しないです。

T： そうですか。

あー。

ちょっと、ルールを教えてほしかったんだけど。

あー、じゃ、サッカーをぜんぜん知らない国の人に、国っていうか〈はい〉、やってない人に、ちょっと、ルールを教えてくれる、分かりやすく？。

I： ルールは〈うん〉、チームは11人で〈はい〉、で、えー、んー〈うん〉、、、目標は〈うん〉ボールは相手のゴールラインの中に〈うん〉入れることです〈はい〉。

そんで、なんか、四角、四角じゃないけど、四角い、四角い？。

T： うん。

四角い、何？。

I： あの、フィールド。

フィールド、こう。

T： あー、あー。

フィールド。

I： フィールドは〈うん〉、が、四角いけ、四角いで〈はい〉、四角いで〈はい〉、なんか、その、四角、四角い場所に出たら〈はい〉、相手のボールになる〈はいはいはい〉。

それで、なんか、怪我をしてたら、なんか、交代できる、できます〈ふんふんふん〉。

それで、あんまり〈ふん〉、えー、、、あんまり、なんか、悪いことしたら〈うん〉、なんか〈うん〉、黄色カードある、それは注意〈うん〉。

それで、レッドカードは〈うん〉、えー〈ふんふんふん〉、なんか、ゲームから出る。

T： ゲームから出る。

はいはいはい。

I： 出る、出る。

それでもど、戻ることができない〈はい〉、その試合に。

T： あ、レッドカードはね。

はい。

うんうんうん。

悪いことしたらって、例えばどんなことですか？。

Y009

- I : なんか、誰かを〈うん〉傷、傷、した、傷、したら、…
- T : ん、うん？
- I : 傷、い、傷付く。
- T : あ、傷付く。
- I : 傷付く。
- T : 傷付けてしまう。
- はいはい。
- とか？
- I : それで…
- T : あとは？
- I : あと、誰か、ほかのチームと喧嘩してたり、なんか、言葉とか、あんまり悪いことしてたら〈はい〉、いたら、あと、審判とかが見てたら。
- T : ふーん。
- 審判に、なんですか？
- I : 審判。
- あれ、なんか、悪いこと、なんか〈あー〉、あの、裁判みたいな人。
- T : 審判に、なんか、うん。
- I : えー、ファール、ファールとか〈はいはい〉、なんか、四角いところに出たときには〈うんうん〉、あの、審判が決める。
- T : はいはい、うん。
- なるほど。
- ふーん、なるほどね。
- わかりました、はい〈はい〉。
- えっと、最近、なんか、いろいろ、テレビ見えて面白いものってありましたか？
- I : うーん。
- あまりテレビは見てません。
- T : ふーん。
- マンガとかも読まないですか？
- I : はい、読みます。
- なんか…
- T : そうですか〈はい〉。
- 面白かったマンガってなんですか、最近、特に？
- I : うーん。
- 『エア・ギア』。
- T : はい。
- あたし、ちょっと、マンガ見ないんで〈うん〉、どんなものが教えてください。
- I : あの〈はい〉、うーん、なんか、、、忘れちゃった。
- T : うん。
- どんなマンガですか？
- うん。
- I : なんか〈はい〉、アクションで〈ふん〉、なんか、『エア・ギア』とか〈はい〉、『エア・トレック』『エア・トレック』とあった〈ふーん、はい〉。
- それは、なんか、、、えー、忘れちゃった、忘れちゃった。
- T : ふーん。
- それは？
- I : それは、なんか、靴、靴に〈はい〉、なんか、輪？
- T : 輪。
- I : 輪って、あれ。
- T : 輪。
- I : 輪？

Y009

- T : うん。
 なんですか、輪って？。
 うん。
- I : 輪って…
- T : 靴に輪？。
- I : 靴に…
- T : 丸い、の輪？。
- I : 丸い輪〈うんうん〉、輪〈うん〉、はいて〈うん〉、それでチーム作って〈うん〉、えー、試合やった。
- T : ふーん。
 それで？。
- I : それで、勝った人は〈うん〉、なんか、え、エンブレム、エンブレムを、ほかのチームのエンブレムを、なんか、もらう〈はい〉。
 それで〈うん〉、レベルはいっぱいあった〈うんうんうん〉。
 なんか〈うん〉、あん、Gから、Eから〈うん〉、Aまで〈うん〉。
 それ、レベルに〈うん〉、なんか、ルールが違う〈うん〉。
 あの、Eが〈うん〉スピードで〈うん〉、Gは、なんか、エア〈ふーん〉、で、やってて〈うん〉、それに行く。
- T : 何が一番おもしろかったですか、そのマンガで？。
 どんなどころが。
- I : なんか、いっぱい〈うん〉、うん、おん、面白いですけ、面白いから〈うーん〉、うーん、なにかな〈うん〉、、、
 うん。
- T : うん。
 特にどんなどころが？。
- I : えー〈はい、うん〉、、、、わかんない。
- T : とにかく面白い {笑}。
- I : うん、面白い。
- T : そうですか〈はい〉。
 マンガ読んだり、あと、えー、ね、す、スポーツしたり、いいですよね〈はい〉、友だちもいっぱいいてね。
 なるほどね。
 えーっと、ご家族、何人でしたっけ？。
 お、妹さんがいらしたんですよ？。
- I : はい。
- T : うーん。
 妹さんはどんな人ですか？。
- I : うざい人です {笑}。
- T : えー。
 性格とか教えてください {笑}。
- I : いつもわがまましてる。
- T : うーん。
 兄弟はそうかな。
 そう思っちゃうだけかな〈{笑}〉。
 そうですか。
 へー。
 分かりました。
 で、あの、いま、夢も聞いたんだけどけれども〈はい〉、えー、この【地名5】ってすごくね、あの、こう、ね、せん、しえ、あの、いい、あの、雰囲気ですよね〈はい〉。
 【地名5】の、いちばん、こう、いいところってどんどこですか？。
- I : 【地名5】の、いい、一番いいところ〈うん〉。
 うーん。
 一番いいところは〈うん〉、あれ、【施設名】の隣に、なんか〈うん〉、サッカーのやるところある。

Y009

- T : なんのと、隣？。
べ？。
- I : 【施設名】の隣。
スーパーマーケット。
- T : あ、はいはい。
の隣。
サッカーの〈うん〉。
サッカー場があるんですか。
- I : はい。
- T : はい。
そこが素晴らしいんですか。
- I : うん。
あそこで友だちたちいっぱい集まるから。
そこで…
- T : あー、じゃ、みんな、やっぱ、サッカーが好きで〈はい〉。
それがあれなんですね。
で、ところが、その【地名5】は〈はい〉、えっと、【地名2】と一緒になるって聞いたんですけど。
- I : あー。
聞いたことはあるけど〈うん〉、なんか、あんまり詳しいことは〈あー〉きい、聞きませ…
- T : あんまり興味ないですか？。
- I : あ、興味はあるけど〈うん〉、なんか、ま、誰が話し、話す、すること〈うん〉、こと、人がなかったから。
- T : ふーん。
で、【I】さんはどう思いますか？。
わたしは、せっかく素敵な町をね〈うん〉、このままでいいのに、なんで【地名2】と一緒になるのかなって思うんですけど、どうしてで、でしょうね？。
- I : どうしたい〈うーん〉、です、でしょ〈うーん〉。
僕も聞きたい。
- T : あ、そうですか。
どっちがいいと思いますか？。
うーん。
このままでいい？。
- I : うん。
合体？。
がっ…
- T : うん。
合体ていうか、はい、合併するんですよ。
- I : 合併するほうがいいんじゃない。
- T : そうですか。
どうしてですか？。
うん。
- I : うーん、分かんない。
- T : ふん。
どうでしょう？。
- I : なんか、僕は〈うん〉【地名2】かに住んでます。
- T : あ、いま【地名2】に住んでるんですか？。
- I : はい〈あー〉。
【地名2】に【地名1】〈はいはい〉、住んでる。
- T : ごめんなさい。
【地名2】の住民なんですね〈はい〉。
なるほど。

Y009

で、【地名5】と一緒になるんで〈はい〉。

学校が【地名5】にあるから、あたしも勘違いして、ごめんなさい〈あ、はい〉。

一緒になったほうがいいですかね、やっぱり【地名5】と？。

I : はい。

T : あー、はーはーはー、なるほど。

【地名2】は広いですよ。

I : はい、もっと。

T : 山とかもいろいろあるんでしょ？。

I : ある。

T : や、山とか、いろんな。

I : あ、おれ、うーん、分かんない。

T : あんまりないですか？。

ふーん。

I : わからない {笑}。

T : あんまり旅行とかしないですか？。

I : するけど〈うん〉、行くときには寝ます。

T : ん？。

I : 行くときには寝ます。

T : あ、寝てるんですか？。

I : はい。

T : どうして？ {笑}。

I : ちょっと、いつも学校に来るのは30分ぐらいに〈うんうん〉来るから〈うん〉、車で寝ることは、もう慣れてるから。

T : あー、そうなんだ。

せっかく行っても寝てるんですね {笑}。

なるほど。

分かりました {笑}。

で、なんか、今日、ちょっと、アルバイトの面接があったって、ちらっと聞いたんですけど〈はい〉、どんな、あの、アルバイト、今しようと思ってるんですか？。

I : なんか〈はい〉、品物出し。

品〈はい〉、出すとか〈はい〉、そういうことするために、なんか、いった。

T : ん、ん？。

ど、仕事の内容、ちょっと、教えてくださいませんか？。

しご、品物出し？。

I : うん。

T : なんのお店ですか？。

I : あ、スーパーマーケット。

T : あ、スーパーの品物出し。

I : はい。

T : はーはーはー。

えっと、どうしてアルバイトしたいと思って始めたんですか？。

I : なんか、今、経済危機があるから〈はいはい〉、両親はおか、お金はあまりなくて〈ふーん〉、ぼくも手伝い、手伝おうと思います。

T : はー、なるほどね。

で、いろんな仕事の中で、やっぱりスーパーで働きたいと思ったんですか？。

I : だから、なんか、日本語の勉強を〈ほー〉あそこ、そこに、できるかも。

T : あ、なるほどね。

わかりました。

どんなことを聞かれたんですか？。

I : あー。

Y009

どうやって来るとか、なんか、両親が働いてるとか。

T: ふーん、なるほどね。

これが…

I: あ…

T: はいはい。

I: はい。

あと、計算をしなかつた。

T: あ、テストがあったんですか？。

I: はい。

T: {笑} そうですか。

うん。

これは初めての経験？。

I: はい。

T: ふーん。

アルバイトやると、どんないい点がありますかね。

ま、一つは日本のね、日本語を〈はい〉使うのとか〈うん〉。

うーん。

その、両親、助けたいという、その気持ちで。

I: あ、はい〈はい〉。

なんか、が、学校のは少し高いから。

T: はー。

えらいですね。

I: 妹があるから、もったきつくなる。

T: ふーん。

で、あの、今ね、経済危機で〈はい〉、ほんとにね、いろんなところが大変なってますよね〈はい〉。

あの、これは、その、町、町というか、【地名2】〈はい〉が、どんなことを、こう、もっとサポートしてくれたりいいと思いますか？。

I: 【地名2】は、なんか、サポートとか〈うん〉、***、あの、外国人には〈うん〉、学校にはサポートし、し、するは、するほうがいい。

T: あ、外国人の学校〈うん〉にサポート、はい。

I: なんか、まだ、そんなサポートは見たことがなかったから。

T: そうですよね〈うん〉。

それもそうだし、もっと、なんか、住民に、住んでる人に〈はい〉どんなサポートをしてくれたりいいっていうふうに思いますか、考えますか？。

I: 住民には〈うん〉、そんなことはまだ考えてなかった {笑}。

T: 考えたことないですか。

I: はい。

T: ふーん。

例えばね、わたしだったら、日本語教室をもっとね〈はい〉、どんどん開くとかね。

I: あ、そうですね。

あの、外国人には、なんか〈はい〉、日本語を教えるクラスとかあったらいい。

T: ねー。

無料のをね、開いたらいいなと思うんですけど。

それから、あと、その、なんか、こう、技能〈うん〉、特別な、こう、ねー〈うん〉、そういうもの、できる学校に通わせる、通わせてくれるとかね〈はい〉。

そういうサポートしたらいいなと思うんですけど、どうですか？。

I: あ、同じ {笑}。

T: うん。

なんかほかにアイデアがありますか？。

I: うーん。

Y009

住民には、なってな〈うん〉、ないけど〈うん〉、外国人〈うん〉ためには〈うん〉、あった。

T: ふーん。

ですね。

はい。

で、今、いろいろお聞きしたんですけど〈はい〉、こっから、ちょっと、ロールプレイをしたいんですけど〈はい〉、あ、いいですか？。

I: はい。

T: で、さっき、あの、マンガが好きって仰ったんだけど〈はい〉、えーと、本屋さんでね、マンガを買って〈はい〉、帰ってきたら〈はい〉、なんか、汚れてたんですね、ページが。

I: 汚れてた、あ…

T: ええ、汚れていて、汚い。

ページも、ちょっと、飛んでいた〈あー〉。

それで、わたしのところに、ちょっと言いに来てください。

はい〈はい〉。

いいですか、はい〈はい〉。

わたし本屋さんですね。

I: あ、はい。

T: あ、はい。

なんででしょう。

I: あの、すいません〈はい〉。

あの、マンガのページは、なんか、汚れていました。

T: え、ど、どれですか？。

ちょ、ちょっと、はい。

I: こ、これ、87ページ {笑}。

T: あ、すごい、あれ、でも、これは、そうですか、さっき、なんか、あれしてましたよね、ぱっと見たとき、きれいだったと思うんですけど。

I: あー、僕が見たときは汚れていました〈はい〉。

なんか、かえ、かえることありました？。

T: え？。

I: かえることができました？。

T: かえる？。

え、何？。

I: なんか、交換。

T: 交換〈はい〉、してほしいんですか？。

I: はい。

T: えーと、すいません、ちょっと、見せてください〈はい〉。

確かに汚れてますね〈はい〉。

あ、すみません。

えっと、同じものがですね、今ないんですよ。

どうしましょうか？。

I: そうですか。

T: 在庫がないんです。

I: んー。

どうすればいいのかな。

じゃ、これでいいです。

T: え、汚いままでいいんですか？。

I: はい。

この本、し、この本じゃなければならぬから。

T: そうですか〈はい〉。

もし、これ、あの、もう、いただいて良ければいただいておいて〈はい〉、注文すれば3日ぐらいで来ます

Y009

けど。

I : 3日。

みっ、3日だったら〈うん〉、あー、3日、いいです。
お願いします。

T : え、3日で大丈夫ですか？。

I : はい。

T : あの、待てますか？。

I : はい、待てます。

T : そうですか。

はい。

じゃ、ちょっと、これは、あれしときますね。

はい、分かりました。

はい。

えーと、すみません。

もう1つ、やっていただいていいですか？。

I : あー、はい。

T : ちょっと、これを声を出して読んでください。
声出してください。

I : うん。

あなたは電車を降りました。

でも電車の中に、かばんを忘れてしまいました。

駅の人に話してください。

T : はい。

あの、えーと、いいですか〈はい〉。

あの、えー、降りた、降りたときに〈はい〉、忘れちゃったんですね〈はい〉。

いいですか。

わたしは駅員さんね〈はい〉。

えーと、今はかばんはありませんか？。

いつも持ってるかばん。

I : あー、あそこに。

T : ね、ね。

はい。

それを忘れたことにしますね。

I : はい。

T : はい。

あー、どうなさったんですか？。

I : あの、かばんを電車に忘れていまし、ていました。

T : あ、そうですか〈はい〉。

あー、と、どの電車ですか？。

I : あの、駅、なんか、え、【地名2】から〈あー〉【地名3】までの電車。

【地名3】方面。

T : で、いつの、今の、今の電車？。

I : はい。

T : あ、そうですか。

えーと、すみません。

どんなかばんか、ちょっと、詳しく教えてください。

I : なんか、黒いかばんで、なんか、財布も中に入ってた。

なんか、【商標名】のかばんだった〈はいはいはい〉。

それで住所も、僕の〈はい〉あの、教科書もあった〈はいはいはい〉、ノートとか筆箱といっぱい、学校の
〈はい〉ことあった。

Y009

- T : あ, そうですか。
えーと, それは名前かなんか, 書いたのありますか?。
- I : あ, 財布の中で, 外人登録がありました。
- T : あ, そうですか。
わかりました。
えっと, すいません。
電車のどのへんに乗られたんですか?。
- I : 一番最初の電車。
- T : 最初。
- I : 最初。
あの, 最初の, 一番前の椅子。
- T : あ, 一番前の〈はい〉ところですね 〈はい〉。
1両目ですね 〈はい〉。
わかりました, はい。
じゃ, あの, お名前と電話番号教えてください。
- I : あの, 【I (フルネーム)】です 〈はい, はい〉。
あの, 【電話番号】。
- T : はい。
わかりました。
じゃ, あの, 調べて 〈はい〉, 出てきたらすぐに連絡しますね。
- I : はい。
お願いします。
- T : はい。
はい, ありがとうございます。
これでロールプレイを終わります。
はい。
今日は, もう6時ですけど 〈はい〉, これからどうしますか?。
- I : ちょっと休んで, あ, それで明日はテストがあるから, 勉強します。
- T : なんのテストですか?。
- I : あの, 地理。
- T : ほー。
物理だとね, 好きだからいいですけど {笑} 〈はい〉。
地理も好きですか?。
- I : あー, あんまり好きくないです。
- T : あー, そうですか。
はい。
今日はどうもありがとうございました。